

平成 29 年度の公共交通事業の実施状況について

1. 「事業 1-2. ノンステップバスの導入促進」

バス事業者（朝日自動車株式会社）が、路線バスのバリアフリー化を目的としたノンステップバスの導入（小型 3 台）に対し、補助金を交付（手続き中）。

写真 1：ノンステップバス（小型）

【※平成 29 年度の導入車両ではありません】



2. 「事業 1-3 バス停利用環境の改善」

1) 公共交通環境整備工事

高齢者や障がい者など誰もが利用しやすいバス停環境を整備するため、バス停付近の歩車道境界ブロックの一部撤去を 5 か所実施。

【実施箇所】

- ①バス停名「越谷東中学校前」周辺の歩車道境界ブロックの一部撤去
※市民要望等に対応するため実施
- ②バス停名「大道」他 2 か所の周辺の歩車道境界ブロックの一部撤去
※「せんげん台駅～大袋分署前～大袋駅西口線」などのバス路線の開設のため実施
※ 2 ページの「工事後の状況」の写真を参照
- ③バス停名「(南越谷) 駅入口」周辺の歩車道境界ブロックの一部撤去
※市民要望等に対応するため実施



写真2：②工事後の状況
(第九公園入口：大袋駅西口方面行き)



写真3：大袋駅西口のバス停

2) バスマチスポット等の追加登録

老人福祉センター（くすのき荘、けやき荘、ひのき荘、ゆりのき荘）の4施設、グリーン・マルシェ（越谷市農業協同組合）の、合計5施設を新規登録。
※平成30年1月1日時点での越谷市内のバスマチスポットは、19施設、バスマチスポットは8施設、合計27施設。

3. 「事業1-4 サイクルアンドバスライド拠点の整備」

平成28年度の民間の1施設（川崎神社の敷地内（北川崎自治会の集会所の敷地内））をサイクルアンドバスライド駐輪場に位置付けたのに加え、荻島地区センター、出羽地区センター、増林地区センター、越谷南体育館、老人福祉センター（くすのき荘、けやき荘、ひのき荘、ゆりのき荘）の8施設の既設駐輪場を位置付けた。



写真4：荻島地区センター(看板設置状況)



写真5：越谷南体育館(看板設置状況)



写真6：サイクルアンドバスライド駐輪場を示す表示板

4.「事業1－6 駅のバリアフリー化(内方線付き点状ブロックの設置等)」

1) 内方線付き点状ブロック整備促進

鉄道駅のバリアフリー化を進めるため、東武鉄道株式会社が実施するせんげん台駅における内方線付き点状ブロック整備事業に対し補助金を交付。



写真7：施工前の状況（せんげん台駅上りホーム）

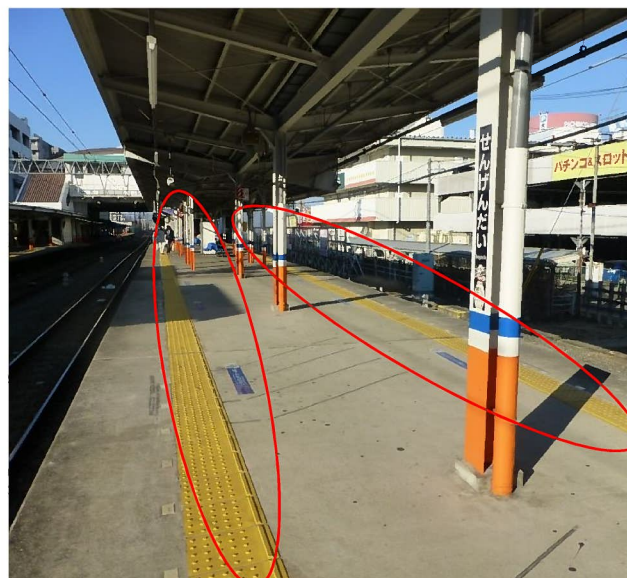


写真8：施工後の状況（せんげん台駅上りホーム）

2) 駅ホーム声かけサポート講習会の開催

視覚に障害のある方が駅ホームからの転落や列車との接触などの事故に遭わないよう、積極的に声かけをしていただくため、平成29年10月27日（金）に、埼玉県及び東武鉄道株式会社と連携し、声かけサポート講習会を開催。

日 時 平成29年10月27日（金）午後2時～午後4時
会 場 市民活動支援センター活動室A・B、越谷駅
参加者 27名（男性12名、女性15名）



写真9：講習会（講義）の状況



写真10：講習会（体験会）の状況

5. 「事業2-1 バス路線の新設」

越谷市地域公共交通網形成計画に位置付けている「大袋駅西口を発着とするバス路線」の実現のため、地域の皆さま、バス事業者（朝日自動車株式会社）、市が連携して取り組んだ結果、朝日自動車株式会社が運行している既存のバス路線「せんげん台駅～大道（循環）」線を延伸し、「せんげん台駅～大袋分署前～大袋駅西口」及び「せんげん台駅～大袋分署前」を結ぶバス路線が平成29年11月1日より開設。

【バス路線の実現に向けた取組の経緯】

① 公共交通地区懇談会（大袋地区）

日時：平成29年4月6日（木）午後6時から7時まで

場所：大袋地区センター・公民館 小会議室

内容：既存のバス路線「せんげん台駅～大道（循環）」線を延伸して、西大袋土地区画整理事業地内を経由し大袋駅西口を結ぶバス路線の運行経路（案）、バスの転回場（案）及びバス停の位置（案）について、関係する8自治会長に説明。

② 西大袋地区におけるバス路線の新設に関する三者協議

日時：平成29年4月28日（金）午後2時から3時30分まで

場所：大袋地区センター・公民館 和室

内容：バス停の位置について意見交換。バス停の設置予定地先の土地所有者の方への説明等は、地域の皆さまが行うことを確認。

6. 「事業3-2 案内マップ・利用促進ツールなどの作成」

こしがや公共交通ガイドマップを平成30年2月1日時点の公共交通等に関する情報に更新し、平成30年3月下旬頃に配布を開始する予定。

※作成部数

10,000部

※主な配布・配架先

市役所の窓口（広報広聴課、都市計画課など）
13地区センター、鉄道駅（8駅）など。

※自動車運転免許を返納された方に市内の公共交通の情報を知っていただき、公共交通の利用促進を図るため、平成29年5月30日より越谷警察署においてもガイドマップを配布。



写真11：こしがや公共交通ガイドマップ
平成30年3月版（Vol. 3）の表紙（案）

【参考資料：公共交通事業関連の予算】

(単位：千円)

	平成 28 年度 決算	平成 29 年度 当初予算
1. 地域公共交通協議会関連費	236	660
2. 印刷製本費	857	800
3. 公共交通環境整備工事費 (注)：[]書き内は、平成 29 年 9 月補正予算額	349	400 [300]
4. 地下鉄 8 号線建設促進並びに誘致期成同盟会負担金	90	90
5. 武蔵野線旅客輸送改善対策協議会分担金	14	14
6. 東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会負担金	20	20
7. ノンステップバス導入促進補助金	1,697	2,400
8. 鉄道駅バリアフリー化設備整備事業補助金	—	19,000
9. 高速鉄道等整備基金	97	10
合 計	3,360	23,394 [300]